

研究課題名	広島大学病院矯正歯科患者における顎関節症の臨床統計調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学 教授 谷本 幸太郎
研究期間	令和元年7月17日(倫理委員会承認後)～令和14年3月31日
対象者	平成17年4月から令和9年3月31日までに広島大学病院矯正歯科を受診した患者さんのなかで、顎関節症が認められた患者さん。
意義・目的	不正咬合は顎関節症を惹起する要因のひとつとして指摘されています。実際に不正咬合を主訴として矯正歯科を受診する患者さんのなかに、顎関節部症を有する患者さんも多いのですが、その関連性は明らかになっていません。今回、広島大学病院矯正歯科を受診した患者さんにおける顎関節症の統計調査を行い、顎関節症と不正咬合の関連性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は矯正歯科内の診療録(カルテ)情報、レントゲン写真、MR画像、口腔内模型、口腔内および顔面写真を用いて調査を行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、問診・顎関節診査項目、診断名、治療方針です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科歯科矯正学 教授 谷本 幸太郎
個人情報保護について	<p>本研究は広島大学理事(医療担当)の許可を受けて行います。診療録など既存資料を用いる研究であるため、患者さんに身体的な負担や危険はありません。顎関節症患者の現状を把握することは、今後の矯正歯科臨床や地域医療への貢献につながる可能性があります。したがって本研究に参加される方に、直接の利益はありません。</p> <p>情報公開は論文発表や学会発表にて行います。希望があれば、研究計画書や研究方法に関する資料を閲覧することができますので、問合せ・苦情などの窓口担当者にお知らせ下さい。</p> <p>試料・情報は匿名化を行い、外部に接続の無いパソコンにパスワードを付して保存し、個人情報の取扱には十分配慮を行います。これらの試料・情報は研究終了5年後に細断または溶解処理を行い、ファイルはコンピュータ上から確実に消去します。</p> <p>本研究は、矯正歯科の運営交付金によって行われます。本研究において、開示すべき利益相反はありません。</p>

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5686 広島大学病院矯正歯科 職名 助教 栗田 哲也

研究機関：広島大学